

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三―五
TEL 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435
http://www.neues-asahi.jp

伊勢崎、桐生では八月十一日午後二時三十分今年全国最高気温四〇・五度を記録し、全国でも熱中症で病院に運ばれる人が多く、亡くなった方もいました。熱中症アラートも出続けています。

新型コロナウイルス感染拡大によるマスク着用で外出時は息苦しく、夏用マスクをしてもあまり変わらない状態です。

休暇の一日に軽度の熱中症か、足に力が入らなくなり慌てて経口補水液や塩分補給タブレット、梅干し飴、おにぎりを補給。

気をつけているつもりでも、この暑さと年齢には勝てません。外出時には、ナトリウム、カリウム、ブドウ糖などの入った飲料を持参し、塩分補給タブレットなども少しバックに入れておくと良いでしょう。

ただし、乳幼児やナトリウム、カリウムの摂取制限がある方は要注意のとことです。十分に気をつけてください。

「ノイエスだより」が皆様に届く頃には、だいぶ涼しくなってきたころかと思いますが、九月いっぱいには油断大敵です。

数か月も続く自己管理や社会的規制から、いつ開放されるのか精神的、肉体的な影響も大きく、傷を癒す時間もとれない状況です。

新型コロナウイルス感染拡大、熱中症や東日本大震災、大雨洪水や地震などによる自然災害のニュースが毎日流れる中、外の風景を見回せばトンボが飛びかき、空は秋空、スーパーに並ぶ果物や野菜もそろそろ秋の香りと色彩が見えてきています。

まずは口から入れる食材を選んで、栄養面も考え、ひと工夫して調理をする習慣をしっかりと身につけたいと思います。

八月の展覧会、「斎藤健司作品展」「コロナ禍の中の作家たち」「久保茂雄彫刻展」を実施し、九月も三つの展覧会が続きます。

コロナ対策をしつつ日々クリーンな環境で、来廊される方が現代を表現する作家たちの力強い姿勢で作品と向き合う姿と接し、作品を鑑賞していただければと思います。

表現者にとってのテーマというのを考えてみると、現代社会の中で自己と向き合い、技術と独自の表現方法を試行錯誤して日々、筆を持ち、ナイフを使い、カラージュの素材選びをし、真っ白なキャンバスに新たな世界を構築していく・・・その作品と向き合える鑑賞者の至福の時間を大切にしたいければと思います。

(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

第7回 ブランシエ展

日時 九月四日(金)～六日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

新井 功 池内昭子 小林真由子

小峯美恵子 櫻井君代 竝木敏行

濱名康弘 粉山泰男

島崎庸夫先生(賛助出品)

北詰眞弓展

〈企画〉

―大地動乱・温暖化・パンデミック―

日時 九月十二日(土)～二十日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

紙魚と墨

関口将夫展

〈企画〉

日時 九月二十六日(土)～十月四日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日で七年ぶり、三回目の個展です。

絵画、彫刻、陶芸そして詩作など幅広い制作活動をしている関口将夫氏の新たな世界をお楽しみください。

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座

講師 早田 勉(そうだ つとむ)氏

(第27回研究賞受賞者、火山灰考古学研究所代表取締役)

演題 「火山灰でわかつた群馬の歴史災害」

日時 九月十日(木) 午後一時三十分～三時

会場 ノイエス朝日 スペース1

定員 先着三十名

参加費 五〇〇円(お茶の用意があります)

主催 一般財団法人 群馬地域文化振興会

*新型コロナウイルス感染拡大に伴い、定員は、先着三十名とさせていただきます。

*参加ご希望の方は、展覧会会期中に、お電話でお申し込みください。(ノイエス朝日まで)

■ 展覧会、特別講座で来廊の際は、

マスク着用・手指消毒をお願いします。

新刊のご案内

写真家の心 詩人の眼

小松健一

定価二五〇〇円＋税

発行 本の泉社

写真家の小松健一氏から新刊「写真家の心 詩人の眼」が送られてきました。

一九五三年、岡山で生まれ、群馬で育った著者の三十七年間に書き連ねたものの中から「複眼でモティーフを見ぬく!!」を大きなテーマとして選んだものに一部加筆、補筆し二八〇頁にまとめたものです。

写真と短歌に夢中になった中学時代から現在にいたるまで作家の原風景を切り口にした日本人の暮らしと風土をテーマにした取材は続いています。

パンフレットは、ノイエス朝日にあります。

ご注文の方は、お近くの書店にてご注文ください。